

各機関における取組状況

山口市	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1
防府市	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2
周南市	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3
山口県	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4
下関地方気象台	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5
中国地方整備局	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7

■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発【山口市】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
洪水に対してリスクの高い区間の住民との共同点検	継続実施	山口市、防府市、 中国地方整備局	実施済	山口市、中国地方整備局合同で実施：R3年5月18日

佐波川の水害リスクへの理解を深めることを目的に、地域住民の方と合同で佐波川の危険箇所を確認し、佐波川の概要や洪水情報等について情報提供を行った。



住民との共同点検の様子
(R3年5月18日)

■ 情報伝達、避難等に関する取組【防府市】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4. 3月末時点)	具体的な取り組み内容
簡易型河川監視カメラや防災監視カメラ等を活用した避難に結びつく情報発信	R3年度	山口市、防府市	完了	防府市：運用開始（R3年4月～）

河川等の状況を捉え、迅速かつ的確な水防対応につなげるため防災監視カメラを設置した。
 「防府市河川等防災監視システム」による河川等防災監視カメラ画像のウェブサイトでの提供を令和3年4月に開始した。
 システム導入により、国・県・市が既に設置しているカメラ画像や水位情報が一斉に確認可能となった。



(全景)



(カメラ部)

防府市河川等防災監視カメラ

画面イメージ①

画面イメージ②

防府市 防災監視カメラ

検索 🔍

公開URL : <https://hofu-kasen.info/>
 (防府市公式ホームページからでも見られます)

【問合せ先】防府市河川港湾課 0835 (25) 2429

防府市河川等防災監視システム

情報伝達、避難等に関する取組【周南市】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知	R3年度	山口市、防府市、周南市	完了	周南市：島地川上流域のハザードマップ印刷・配布 (R3.6配布完了)

令和2年度に国土交通省で策定した、島地川上流域の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図について、ハザードマップを作成し、印刷・配布を行った。
今年度中にWeb版ハザードマップへの反映も予定している。

島地川 (上流) 洪水ハザードマップ

令和3年3月 周南市

1 自宅は安全か!
 浸水が予想される場所 (浸水想定区域) 3.0m～5.0m未満
 土砂災害が予想される場所 (土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域) 0.5m～3.0m未満
 0.5m未満 大人の膝までの程度 / 床下浸水

2 立退き避難 (水平避難)
 避難先としては、浸水想定区域外の知人宅やホテルも推奨されています。
 避難先: _____ 避難にかかる時間: _____ 分

3 避難情報の入手方法はこれだ!
 しゅうなんメール (登録方法) 1 下記のメールアドレスに 2 メールを送信 3 返信メールで登録
 メールアドレス: shunan@xpressmail.jp
 防災ラジオ 周南市防災ラジオ 0834-34-0007
 周南市防災情報 避難情報・交通情報など
 下関地方気象台 天気予報・気象情報など
 防災行政無線電話応答サービス 0834-34-0007
 避難のタイミングは、様々な情報から判断しましょう。気象情報に注意して、市からの避難情報や周囲の人の呼びかけがあったら速やかに避難しましょう。

4 いざ避難するタイミングを確認!
 大雨の予報 雨が激しく降り始める 川の増水 川の氾濫 川の暴走
 情報収集 気象情報 雨量情報 土砂災害警戒情報 避難情報
 避難準備 避難実施 身の安全確保

使ってみよう 地上デジタル放送 (dボタン) NHK総合テレビ (1ch) KRY山口放送 (4ch)

島地川 (上流) 洪水ハザードマップ (情報面)

地区名	施設名	電話番号	48時間雨量255mm	48時間雨量300mm【想定最大】	避難時の注意事項
指定避難所	西山下集会所	—	○	○	土砂災害警戒区域等内のため注意が必要だが、一時避難場所として利用可能
	高瀬集会所	—	○	○	同上
	大原分會堂	—	○	○	同上
	中村区公会堂	—	○	○	同上
その他の地区内の避難場所	林集会所	—	○	○	同上
	夏切集会所	—	○	○	同上
	和南市民センター	87-2969	○	○	同上
和南中学校	87-2102	△	×	土砂災害警戒区域等内のため注意が必要 最大規模降雨時利用不可 (深浸水一時的にのみ)	

緊急連絡先

機関	電話番号	サービス	対応時間	備考
中府庁 防災危機管理課	22-6264	自主避難の連絡	24時間	災害全般の連絡
新南陽総合支庁 地域政策課	61-4215	自主避難の連絡	24時間	救助等の連絡
和南支庁	87-2111	自主避難の連絡	24時間	洪水の連絡・問い合わせ

【参考】計画規模の降雨 (48時間総雨量255mm) による浸水想定区域
 この地図は、島地川ダムで洪水を防ぐための計画を作成するときの対象となる降雨 (48時間総雨量255mm) に伴う洪水で、島地川が氾濫した場合を想定しています。

凡例
 浸水深
 3.0～5.0m未満
 0.5～3.0m未満
 0.5m未満
 土砂災害
 土砂災害特別警戒区域
 土砂災害警戒区域
 指定避難所
 自主避難所
 その他
 防災行政無線
 河川管理線
 主要道路

洪水ハザードマップについて
 ○この地図は、国土交通省山口河川国道事務所が公表した想定最大規模降雨 (島地川ダム地点の山時節の総雨量255mm) による洪水浸水想定をもとに、河川の浸水の範囲や深さ、避難所などを示したものです。
 ○浸水想定区域外でも、想定を超える集中豪雨や小川河川などの氾濫による浸水、浸水深が避難の想定と異なる場合がありますので十分注意してください。
 ○避難場所は必ずしもそこに避難しなければならないというものではありません。周辺が浸水しているような場合は、高い建物などに避難してください。

島地川 (上流) 洪水ハザードマップ (地図面)

■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発【山口県】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
自主防災アドバイザーの養成	継続実施	山口県	実施済	研修の実施（累計582名委嘱） ※R4年3月末時点

令和3年度も引き続き「自主防災アドバイザー」の養成研修を行った。
「自主防災アドバイザー」は、養成研修を終了し、アドバイザーとしての活動を承諾された方に委嘱する。

【自主防災アドバイザー制度】
県で定めた研修を受け、防災に関する知識と自主防災組織への指導・助言を行えるスキルとノウハウを備えた方で、自主防災組織等の活動促進に寄与する意欲を持つ方をアドバイザーに委嘱・登録し、自主防災組織等からの依頼に基づき、各地域に派遣する制度。

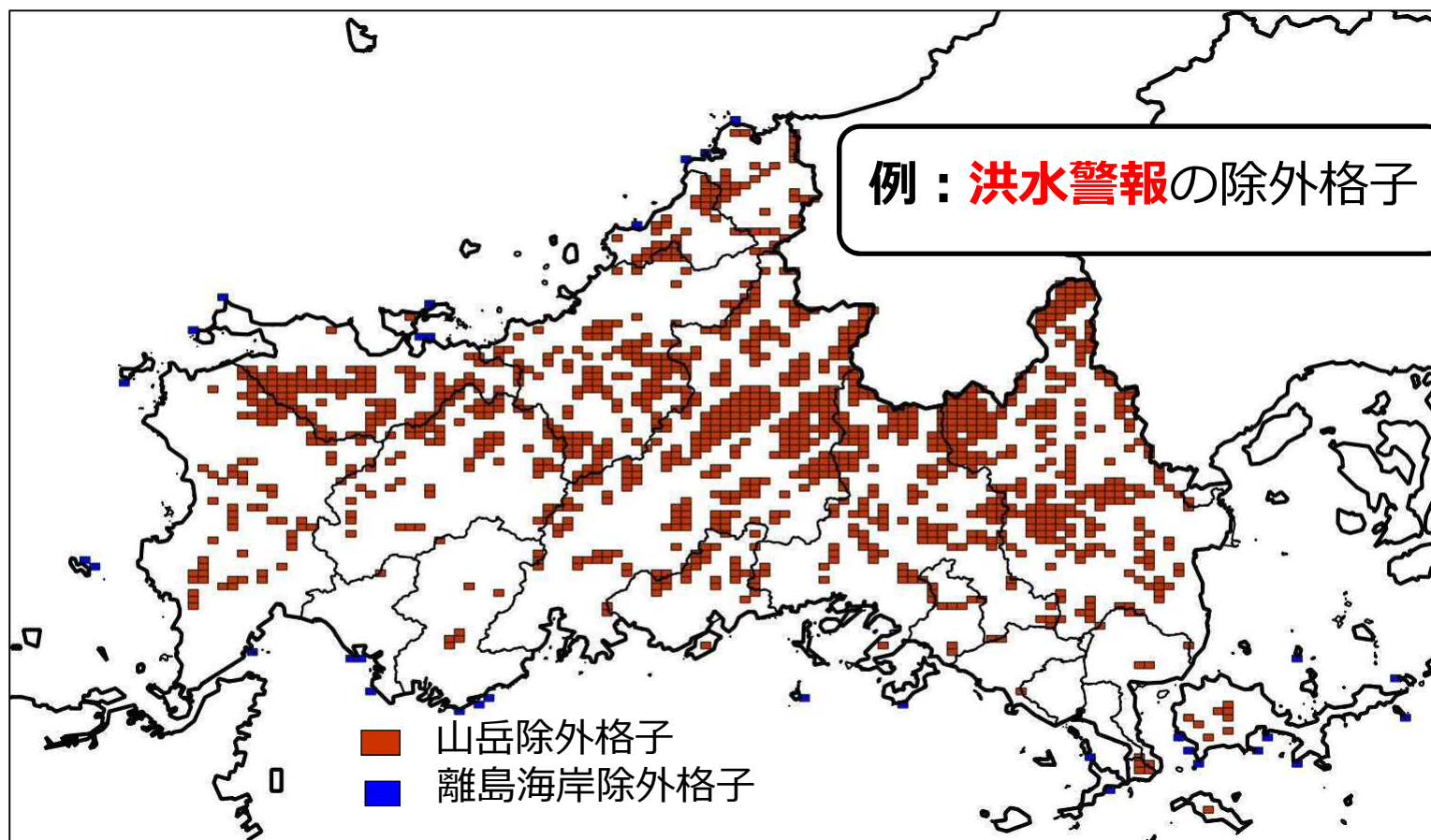


自主防災アドバイザー養成研修（R3年10月）

■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備(ハード整備)【下関地方気象台】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の精度向上	R3年度	下関地方気象台	完了	警報等除外格子適用 : R3.9.30完了 警報等基準見直し(定期) : R3.6.8完了

災害に対する警報・注意報の空振りの減少を目的として、避難指示等の対象とならない地域(山岳)や対象水害の素因が一切存在しない地域(離島海岸)を、警報等の対象から除外した。
居住者や土地利用がないことの最終確認にあたっては、各市町に多大なご尽力をいただいた。



除外格子 (R3年9月30日適用)

防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発【下関地方気象台】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
教育機関と連携した防災学習の実施	継続実施	協議会全体	実施済	下関地方気象台：出前授業等による防災学習として利用

児童・生徒等を対象にした防災授業として、防災気象情報の活用を目的に、講話や各種防災ワークショップ（以下：WS）を教育機関と連携し実施した。
この防災学習の中では、事前防災として、自分が住んでいる地域のリスクを把握しておくことが重要であると説明し、その資料として、ハザードマップを活用した。

『防災』について考えてみよう！
～自然災害から身を守るために～
令和3年11月10日（水）
下関市立基井小学校

災害ってなんだろう？
地震 津波 噴火 竜巻 大雨

災害から身を守るためには、普段からの備えが大事
地域でキケンな場所を知る（ハザードマップで確認を！）

警戒レベル	気象庁	自治体 市町村からの発表
警戒レベル 1	気象情報 心構えを高めて！	気象庁の情報を中心に 移行開始
警戒レベル 2	注意報 避難行動の事前確認	(相当情報)
警戒レベル 3	警報	高齢者等避難 避難するのにお困りか りそなたは先んじて動こう
警戒レベル 4	(相当情報) 土砂災害警戒情報	避難指示 高齢者だけでなく、 全員避難
警戒レベル 5	(相当情報) 特別警報	緊急安全確保

・がけの近く
・周りより低い場所
・川のそば
準備が大事！

実際の出前授業の資料（抜粋）

(WSの実施例)

大雨防災
ワークショップ

大雨による災害のリスクが高まっているとき、どのような情報を入手し、どのように行動したらよいのでしょうか？
このWSでは、架空の町の住民になりきり、気象防災情報を活用して、大雨災害から身を守るための行動について、学んでいただきました。

大雨災害から身を守るためには…？

- 1 地域の災害リスクを知る
- 2 災害から身を守るための知識を持つ

発表

大雨防災WSの資料（福岡管区気象台HPより一部抜粋）

情報伝達、避難等に関する取組【中国地方整備局】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
タイムラインの確実かつ効果的な運用（訓練、見直しの実施）	継続実施	協議会全体	実施済	担当者会議：R3年11月29日

担当者会議を実施し、令和3年度出水期の振返りを踏まえたタイムラインの改良案について意見交換を行った。



議事

- (1) 令和3年度出水期の振返り
- (2) タイムライン改良案について
- (3) 佐波川水害タイムライン情報統合ポータルサイト（試行版）の改良案について
- (4) 今後のタイムラインの活用に向けて

③タイムラインレベルの運用方法の改良（事務局提案）
提案事項①：タイムラインレベルの統一

- 洪水予報の発表方法と合わせ、3つの基準観測所のいずれかが水位基準に達した際に、タイムラインレベルを統一してレベル移行する運用を提案する。

現状：基準観測所毎にレベル移行（連絡頻度高、運用複雑）
 提案：最初に水位基準に到達した観測所に統一してレベル移行（連絡頻度低、運用単純）

日付	時刻	観測所	水位	タイムラインレベル	標準水位
8/12	9:50	1.31	1.97	0.75	0.75
	10:30	1.22	1.87	0.65	0.65
	11:00	1.00	1.68	0.50	0.50
	11:30	0.99	1.67	0.45	0.45
8/13	6:30	2.00	2.27	1.00	1.00
	6:50	2.24	2.47	1.20	1.20
	6:50	2.24	2.47	1.20	1.20
	6:50	2.24	2.47	1.20	1.20
8/14	10:00	2.46	2.74	1.40	1.40
	12:45	2.00	2.27	1.00	1.00
	13:30	2.00	2.27	1.00	1.00
	14:00	2.00	2.27	1.00	1.00
8/15	6:30	2.00	2.27	1.00	1.00
	6:50	2.00	2.27	1.00	1.00
	17:50	2.00	2.27	1.00	1.00
	18:00	2.00	2.27	1.00	1.00

担当者会議の実施（R3年11月29日）

取組機関(23機関)	
下関地方气象台	西日本旅客鉄道(株)
山口県	防長交通(株)
山口市	中国JRバス
防府市	日本放送協会山口放送局
自衛隊	テレビ山口(株)
山口県山口警察署	山口朝日放送(株)
山口県防府警察署	山口ケーブルビジョン(株)
中国電力(株) 山口ネットワークセンター	山口放送(株)
西日本電信電話(株)	(株)エフエム山口
山口合同ガス(株)	FMわっしょい
山口LPガス協会	山口河川国道事務所
西日本高速道路(株)	

■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発 【中国地方整備局】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
ダムの効果やダム操作について住民の理解を深めるための説明会の実施	継続実施	山口県、中国地方整備局	継続済	中国地方整備局：R3年11月16日

島地川ダムの目的や防災操作、ダム情報の収集方法等に関する住民の理解を深めることを目的として、周南市和田地区の住民を対象に「令和3年度和田地区自主防災協議会」の研修会において講演を実施した。



島地川ダムの効果やダム操作に関する講演の様子
(R3年11月16日)

■ 情報伝達、避難等に関する取組【中国地方整備局】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4. 3月末時点)	具体的な取り組み内容
洪水時の専門家（河川管理者等）による解説等、地域メディアとの連携による災害情報共有の実施	継続実施	下関地方気象台、 中国地方整備局	実施済	R3年5月24日 R3年11月29日

よりわかりやすい災害情報の共有に向け、メディアの方に向けて災害情報に関する情報提供を行った。

議事

- (1) これまでの取り組み
- (2) 情報提供ツールについて(山口河川国道事務所)
 - ① 川の防災情報
 - ② 水害リスクラインについて
- (3) 洪水警報及び指定河川洪水予報について
(下関地方気象台)
 - ① 一般の洪水警報の概要、及び、昨年度実施した流域雨量指数の改善
 - ② 国指定河川の洪水予報の水位予測6時間化
 - ③ 気象庁HPでの指定河川洪水予報の確認方法

議事

- (1) 下関地方気象台
 - ① 9月30日に運用開始した「除外格子」について
 - ② 8月中旬の大雨の概要について
- (2) 山口河川国道事務所
 - ① 令和3年8月の大雨による佐波川の出水状況
 - ② 水位観測所における基準水位と情報発信
 - ③ 防災に関する用語解説
- (3) 防府市役所防災危機管理課
 - ① 8月中旬の大雨における防府市からの防災情報



第3回 佐波川の災害情報共有に向けた調整
(R3年5月24日)



第4回 佐波川の災害情報共有に向けた調整
(R3年11月29日)

■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発 【中国地方整備局】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
住民自らが確実に避難できる取組（マイ・タイムラインや避難カード等）の促進	継続実	山口市、防府市、周南市、山口県、中国地方整備局	実施済	防府市、中国地方整備局合同で勉強会を実施：R3年12月1日

マイ・タイムラインの促進に向け、防府市防災士会13名を対象として、松崎小学校で実施する出前講座に向けたマイ・タイムライン勉強会を実施した。

実施内容

1. 勉強会開始(主旨説明と講師の紹介)
2. マイ・タイムラインの作成
 - 6本の動画を見ながらマイ・タイムラインを作成
 - ①マイ・タイムラインを知る
 - ②ハザードマップで水害リスクを確認する
 - ③チェックシートを記入する
 - ④雨が降ってから避難までを学ぶ
 - ⑤防災情報を知る
 - ⑥マイ・タイムラインを作る
3. 松崎小学校出前講座に向けて
 - ・松崎小学校出前講座の概要説明
 - ・防災士の皆様の役割について
4. Yahoo!防災速報 防災タイムラインの紹介
 - ・Yahoo!防災速報 防災タイムラインの概要説明



マイ・タイムライン勉強会の様子
(R3年12月1日)

■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発 【中国地方整備局】

取組項目	目標時期	取組機関	現状 (R4.3月末時点)	具体的な取り組み内容
住民自らが確実に避難できる取組（マイ・タイムラインや避難カード等）の促進	継続実施	山口市、防府市、周南市、山口県、中国地方整備局	実施済	防府市、中国地方整備局合同で出前講座を実施：R3年12月9日、12月14日

マイ・タイムラインの促進に向け、松崎小学校の児童を対象に防災学習の一環としてマイ・タイムライン作成出前講座（全2回）を実施した。国土交通省、防府市、防災士により児童をサポートし、マイ・タイムラインを作成した。



マイ・タイムライン作成出前講座の様子（第1回目）
(R3年12月9日)



マイ・タイムライン作成出前講座の様子（第2回目）
(R3年12月14日)

○概ね5年で実施する取組

凡例（対象機関の取組状況） ●：完了 ○：新規追加又は継続

※グレー網掛は、完了済の項目。

取組項目	実施状況	開始時期又は目標時期	山口市	防府市	周南市	山口県	下関地方気象台	中国地方整備局
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組								
■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策（ハード整備）								
1 堤防整備、河道掘削及び漏水対策	継続	継続実施	—	—	—	—	—	○
■ 危機管理型ハード対策（ハード整備）								
2 堤防整備（堤防裏法尻の補強）	完了	順次実施	—	—	—	—	—	●
■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備（ハード整備）								
3 Lアラートの活用による多様なメディアを通じた住民への迅速・確実な防災情報の伝達	完了	平成29年度	—	—	—	●	—	—
4 大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の精度向上	継続	継続実施	—	—	—	—	○	—
5 河川水位情報のプッシュ型配信の拡充	完了	平成30年度	—	—	—	●	—	—
6 スマートフォン等によるプッシュ型の洪水情報発信	継続	継続実施	—	—	—	—	—	○
7 CCTV等を活用したわかりやすい情報の発信	完了	平成28年度	—	—	—	—	—	●
8 危機管理型水位計（簡易水位計）の整備	完了	平成30年度～	—	—	—	—	—	●
9 簡易型河川監視カメラの整備	完了	平成31年度	—	—	—	—	—	●
10 全天候型ドローンの配備	完了	平成31年度	—	—	—	—	—	●
■ 情報伝達、避難等に関する取組								
11 【県管理区間】の想定最大規模降雨における浸水想定区域図の公表	完了	平成30年度	—	—	—	●	—	—
12 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知	継続	継続実施	○	○	○	—	—	—
13 訓練や防災教育等への洪水ハザードマップの活用	継続	継続実施	○	○	○	○	○	○
14 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域等に基づく地域防災計画の検討・修正	完了	平成28年度～	●	●	●	●	—	—
15 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等の判断基準・対象エリアの見直しの検討	完了	平成30年度～	●	●	●	●	—	—
16 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設への水位情報の提供等の検討・実施	継続	継続実施	○	○	○	—	—	—
17 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設による避難確保計画作成及び避難訓練に向けた支援の実施	継続	継続実施	○	○	○	○	—	○
18 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく広域避難の検討	継続	継続実施	○	○	○	○	—	—
19 関係機関と連携したタイムラインの更新	完了	平成28年度～	●	●	—	●	●	●
20 道路管理者、交通サービス、ライフライン等の大規模災害時に対応が必要な関係機関と連携したタイムラインの策定（多機関連携型タイムライン）	完了	平成31年度	●	●	—	●	●	●
21 タイムラインの確実かつ効果的な運用（訓練、見直しの実施）	継続	継続実施	○	○	○	○	○	○
22 簡易型河川監視カメラや防災監視カメラ等を活用した避難に結びつく情報発信	継続	令和3年度～	○	○	—	—	—	—
23 洪水時の専門家（河川管理者等）による解説等、地域メディアとの連携による災害情報共有の実施	継続	令和3年度～	—	—	—	—	○	○
■ 防災学習の推進及び防災知識の普及・啓発								
24 教育機関と連携した防災学習の実施	継続	継続実施	○	○	○	○	○	○
25 防災シンポジウム等の開催及び出前講座等による講習会の実施	継続	継続実施	○	○	○	○	○	○
26 「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報活動の推進	継続	継続実施	—	—	—	○	—	○
27 自主防災アドバイザーの養成	継続	継続実施	—	—	—	○	—	—
28 洪水に対してリスクの高い区間の住民との共同点検	継続	継続実施	○	○	—	—	—	○
29 ダムの効果やダム操作について住民の理解を深めるための説明会の実施	継続	継続実施	—	—	—	○	—	○
30 小中学校における避難確保計画作成及び避難訓練に向けた支援の実施	継続	令和3年度～	○	○	○	○	—	○
31 危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラ等の周知促進（SNS、メディア連携等）	継続	令和3年度～	—	—	—	—	—	○
32 住民自らが確実に避難できる取組（マイ・タイムラインや避難カード等）の促進	継続	令和3年度～	○	○	○	○	—	○
② 地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動								
■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化								
33 CCTV等によるわかりやすい情報の発信及び活用	継続	継続実施	○	○	—	—	—	○
34 Lアラートの活用による多様なメディアを通じた迅速・確実な防災情報の伝達	継続	継続実施	○	○	○	○	—	—
35 迅速な洪水予報を行うための訓練の実施	継続	継続実施	—	—	—	—	○	○
36 市及び県へ派遣するリエゾンの入手情報リストの作成	完了	平成29年度	—	—	—	—	—	●
37 水防資機材の情報共有及び相互支援方法の確認	継続	継続実施	○	○	○	○	—	○
38 市庁舎等の浸水に備えた業務継続計画の検討	完了	平成28年度～	●	●	●	●	—	—
③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策								
■ 排水活動及び施設運用に関する取組								
39 排水施設の簡易的な浸水対策の実施	完了	平成28年度	—	●	—	—	—	—
40 排水施設の情報共有、大規模な浸水を想定した排水計画に基づく訓練の実施	継続	継続実施	○	○	—	○	—	○
41 排水ポンプ車を用いた排水訓練の実施	継続	継続実施	—	—	—	—	—	○